

II

基盤整備

1 市街地の整備

総合戦略



まち



ひと



しごと

SDGs



現状と課題

本町では、将来の都市づくりの方向性を定める「大泉町立地適正化計画」を策定し、都市機能や居住機能の誘導によるコンパクトで持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

町民の移動手段の一つである、広域公共バス「あおぞら」の各種啓発活動を行うほか、利便性向上を図ることで利用者の増加を目指しています。また、上小泉地区の市街化区域編入等については、都市計画法に則り進めています。

今後は、人口減少や高齢化が見込まれる中、低密度な市街地を抑制するため、都市機能や居住機能の誘導を進めることが求められます。また、移動手段の確保に向け継続した取り組みや、上小泉地区の市街化区域編入等については、実情に即し範囲を定める必要があります。

さらに、地籍調査事業については、土地情報の明確化による円滑な土地取引や公共事業の推進、課税の適正化を図っており、地籍図の整備により、大規模災害時の迅速な復旧も期待できますが、境界確認が困難な土地が調査全体の進行に影響を与えることから、土地所有者の理解と協力が不可欠です。

施策の基本方針

大泉町立地適正化計画により、都市機能や居住機能の誘導を図り人口減少社会に対応した持続可能なコンパクトシティ【※6】を目指していきます。

広域公共バス「あおぞら」については、利用者にとっての使いやすさを把握し、事業運営の効率化を図るとともに、町民の新たな移動手段の検討も行っていきます。市街化区域などの土地利用規制に関しては、周辺住民との円滑な関係を構築し、法令に準拠して範囲を定めていきます。

また、地籍調査については、国・県負担金等の積極的な活用を進めるとともに、適正かつ着実な事業の推進をしていきます。

主な取り組み内容

- 都市機能及び居住機能の誘導によるコンパクトシティの形成
- 利用者ニーズを踏まえた広域公共バス「あおぞら」の運行
- 新たな移動手段等を視野に入れた将来交通網の検討
- 適正な土地利用規制と市街化区域への編入の検討
- 地籍調査事業の着実な推進による土地情報の明確化

KGI（重要目標達成指標）

	2024年度 基準値	2029年度 目標値
市街地の整備について満足している人の割合	48.8%	51.3%

KPI（重要業績評価指標）

	2024年度 基準値	2029年度 目標値
地籍調査完了面積（累計）	1.79 km ²	2.57 km ²
広域公共バス「あおぞら」の利用者数	36,260人	38,000人
公共交通の徒歩圏面積（累計）	7.0 km ²	10.5 km ²

※6 コンパクトシティ…都市の機能や人口をできるだけ中心部や特定のエリアに集約し、生活の利便性向上、行政サービスの充実、経済の活性化など、効率的で持続可能な都市づくりのことです。

2 道路網の整備・維持管理

総合戦略



まち



ひと



こと

SDGs



現状と課題

本町では、SNSを活用した通報制度や道路パトロールによって損傷箇所の早期把握と補修を行い、舗装修繕計画や橋梁の長寿命化修繕計画を策定するなど、道路の計画的な維持修繕に取り組んでいます。また、町民参加型の道路愛護運動については、広報やホームページ、自治会を通じて参加の呼びかけを行い、すべての人が安全に通行できる道路環境の保全への理解促進に取り組んでいます。

今後も安全な道路環境を確保していくためには、道路舗装の修繕や橋梁の長寿命化を計画的に行うことが重要であり、損傷箇所の早急な把握・補修に努めるほか、国の交付金事業や起債事業を効果的に活用しながら維持管理を行っていきけるよう、関係機関との協力のもと、柔軟な対応が求められます。

さらに、交通利便性の向上につながる都市計画道路については、早期開通を目指し、用地取得などの準備を着実に進める必要があります。

施策の基本方針

本町の基盤整備の一環として、今後も道路および橋梁の整備・維持管理に継続して取り組んでいきます。特に、国の補助事業や交通安全対策特別交付金を活用しながら、計画的かつ効率的な事業推進を図っていきます。

また、道路愛護事業については、町民の理解と協力をより一層得るために、広報活動や自治会との連携を強化し、美化活動への参加を促していきます。

さらに、都市計画道路については、隣接自治体との連携による交通利便性の向上を目指し、早期開通に向けた用地取得や整備作業を着実に進めていきます。

主な取り組み内容

- 生活圏道路の整備・維持管理
- 都市計画道路の整備・維持管理
- 交通安全施設の整備
- 道路愛護運動の実施
- 道路舗装及び橋梁の修繕・長寿命化

KGI（重要目標達成指標）

	2024年度 基準値	2029年度 目標値
町管理道路における道路管理瑕疵に起因する重大事故発生件数	0件	0件

KPI（重要業績評価指標）

	2024年度 基準値	2029年度 目標値
道路パトロール実施回数	12回	14回
道路舗装の補修面積	2,759.8㎡	2,800.0㎡
交通安全施設整備箇所数	25か所	25か所

3 公園・緑地の整備・維持管理

総合戦略



まち



ひと



しごと

SDGs



現状と課題

「大泉町公園施設長寿命化計画」に基づき、公園や緑地の整備や維持管理により、町民が安心して快適に利用できるよう良好な環境を整備しています。特に、倒木や枝折れによる危険を防止するための樹木の剪定や伐採、公園施設や遊具の保守点検を実施し、老朽化した遊具については更新を行うことで、町民の安全性・快適性に配慮した整備や維持管理を行っています。

町民の憩いの場としての機能が求められる公園・緑地では、誰もが安心して利用できる環境を整えるため、長寿命化計画に基づいた公園施設や遊具の補修・更新が必要です。また、樹木については、伐採が進んだ結果、切り株のままとなっている箇所も目立つようになり、伐根と適正な樹木間隔を確保のうえ植栽するなど、単なる維持管理にとどまらない、長期的に持続可能な緑地環境の形成が求められます。

施策の基本方針

公園・緑地における整備および維持管理については、「大泉町公園施設長寿命化計画」に基づく計画的な遊具や施設の補修・更新を進めていきます。

樹木については、周辺道路、地域住民や公園利用者などへの影響を考慮し倒木・枝折れの危険性のある高木を優先的に伐採するとともに、回復が見込めない樹木や密植による育成阻害が見られる箇所については、早急に対応することで、安全性と景観の両立を図ります。

また、クビアカツヤカミキリの被害の拡大防止のため、害虫駆除など適切な処置を引き続き行うとともに、桜など樹勢の衰えた樹木については、伐採・剪定、伐根を進め、適正な樹木間隔を確保し植栽するなど、これらの取り組みを通じて、公園・緑地を町民にとって安心して利用できる快適な憩いの場として、誰もが安全で安心に利用できるよう努めていきます。

主な取り組み内容

- 公園・緑地の維持管理
- 公園遊具などの点検及び維持更新
- 安全な公園利用に向けた対策

KGI（重要目標達成指標）

	2024年度 基準値	2029年度 目標値
公園・緑地の整備・維持管理について満足している人の割合	48.5%	53.5%

KPI（重要業績評価指標）

	2024年度 基準値	2029年度 目標値
サクラの植樹本数（累計）	13本	63本
近隣公園などの樹木等パトロール実施回数	12回	24回
公園遊具の定期時期前の集中点検の実施回数	－	6回

4 河川・水路の整備

総合戦略



まち



ひと



しごと

SDGs



現状と課題

本町では、国や県が管理する主要河川である利根川や休泊川の改修について、毎年継続的に要望活動を行っており、水害に強い町を目指しています。また、大雨時などの対策として、冠水【※7】箇所
の雨水排水調査や冠水対策事業を実施し、道路冠水被害の抑制に取り組むほか、上小泉地区における
新産業団地造成に伴い、周辺住民が快適かつ安全安心に生活できるよう、調整池設置工事などを進め
ています。

町内全体に目を向けると、寄木戸地区、西小泉地区、北小泉地区など、依然として対策が必要な道
路冠水箇所が多く存在しており、冠水原因の調査結果に基づく排水計画の立案等、継続的な事業の実
施が求められます。

今後は、広域的かつ継続的な河川改修と、町内のきめ細かな排水対策の両面から、水害に強いまち
づくりを進めていく必要があります。

施策の基本方針

寄木戸地区・西小泉地区・北小泉地区をはじめとした、町内における水害対策については、排水構
造物の新設とともに、既存の側溝の修繕や土砂撤去などの維持管理を計画的に実施していきます。

また、利根川や休泊川など主要河川の改修については、恒久的な対策を視野に入れ、関係機関との
調整を図りながら、維持管理を含めた要望活動を継続していきます。

主な取り組み内容

- 国・県への河川改修の要望活動
- 冠水箇所の改善
- 水路・側溝などの維持管理
- 冠水原因の調査の実施

KGI（重要目標達成指標）

	2024年度 基準値	2029年度 目標値
道路冠水による車両損傷被害の発生件数	0件	0件

KPI（重要業績評価指標）

	2024年度 基準値	2029年度 目標値
国・県に対する要望活動件数	5件	5件
排水構造物の設置延長（累計）	408.0m	2,000.0m
側溝清掃箇所数	15か所	15か所

※7 冠水…川などから水があふれ出るにより、田畑や道路など土地が水に浸かることをいいます。